

★壱岐で輝く若者通信第9号★

令和5年5月16日現在

おなまえ	へいま ちひろ
	平間 千広
	1998年(平成10年)生まれの26歳
お仕事先	 長崎県壱岐病院
今の目標	大学の頃から目指していた診療看護師になること！



急性期とは…
病気のなりはじめや、症状の変化が激しく全身状態の安定しない時期

～平間さんの仕事～

【仕事内容】

急性期の病棟(内科・小児科)を担当。
入院患者の身の回りのお世話や点滴、採血など

【勤務体制】

通常勤務や夜勤等の



日常の業務に加え、
感染対策委員会に所

属！

フロア環境チェックや、

診療看護師とは…

看護職でありながら、医師に近い視点から一定の範囲内の診療行為ができる看護師

壱岐での仕事

限られた資源の中で工夫した業務を求められるのが離島

の医療です。担当の急性期の病棟では、重症の患者さん

を受け入れることも少なくありません。そんな中、

治療を終え、患者さんが元気に退院される姿を見る

ことができたとき、一番嬉しく感じます。また、

医師の数が少ない離島の病院にとって、医師に近い

目線で幅広い仕事ができる診療看護師は、医療と

看護の両方の視点から患者さんをみれるとても貴重な

存在です。将来は診療看護師になり、患者さんや職場の

仲間にとって心強い存在になれるよう日々勉強中です。

壱岐での暮らし

今でも陸上競技を続けていて、壱岐で開催される駅伝などのイベントに参加しています。最近は筋トレも

ブームです。職場のムキムキな先輩に憧れて、ついにトレーニング器具を買ってしまいました(笑)

自分のために始めた筋トレでしたが、鍛えた筋肉は仕事をする上でも大活躍です。



後輩へのメッセージ

一度は島外で生活をしましたが、やはり地元である壱岐が一番。活力ある若い方が増えれば

様々なコミュニティができ、地域全体が活性化するはず！ぜひ地元で一緒に働きましょう！

そのついでに、、、壱岐のイベント等にも一緒に参加できたら嬉しいです！！



壱岐に残ることを決意した理由

大学を決める前から壱岐に戻ろうという気持ちはありました。壱岐は住みやすいし、人も優しいし、

慣れ親しんだこの島でゆっくり暮らしたいなと。そんな時、高校からの紹介で県内大学の離島看護師

特別枠について知りました。この制度は修学資金の支援もあるし、何より看護師として、壱岐に戻る

ことができるところに魅力を感じました。そして、県内大学では、離島の医療に関する教育が充実

していることから、この制度を活用して看護師になることを決めました。

気が付けば壱岐に戻り入職して4年目、これからもっと経験を積んでいきたいです。

長崎県企業団医療技術修学資金

長崎県病院企業団

医学修学資金

長崎県医療人材対策室 などな

！修学資金制度の紹介！

修学資金や生活費等の貸与制度。
離島僻地医療に従事する等、一定の条件を満たすと返還が免除に！

※ここで紹介している制度は一部です。
この他にも看護学生を対象とした制度などがあります！



記入上の注意

1. 壱岐の若者のありのままの姿を書く。 2. 正確に記載すること。ただし、時にはクスッと笑えるように。

<記事作成者のひとこと>

今回は、大学生の頃からの夢を追いかける熱い思いをもった若者にインタビューを行いました。常に学ぶ姿勢を忘れず、職場の頼りになる存在として大活躍中の平間さん。患者さんとの日常のやりとりについて楽しそうにお話をされる姿からは、平間さんが患者さんの目線でお仕事をされる様子が思い浮かびました。

そんな温かく穏やかながらも責任感が強い平間さんの一生懸命な姿が自然と患者さんの笑顔を引き出しているのだと思います。これからも平間さんの素敵な笑顔と熱い思いでたくさんの患者さんを勇気づけてほしいですね！

平間さんの勤務先



勤務先:長崎県壱岐病院

〒859-0101 長崎県壱岐市清水

業務内容:病院看護事業

壱岐出身の方が多く、人間関係が良い職場です。
人材育成研修も充実しています！

記事作成者

若者定着促進会議

清水(壱岐振興局 地域づくり推進課)

【お問い合わせ先(事務局)】

TEL:0920-47-4396

FAX:0920-47-4809

MAIL:s13015★pref.nagasaki.lg.jp

(壱岐振興局 地域づくり推進課)